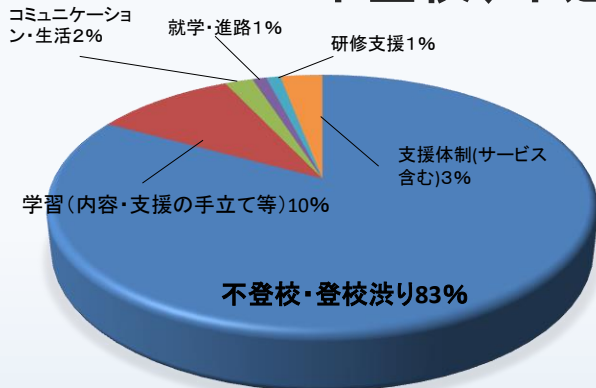


地域支援センター「サポートJOYO」



不登校、不適應への支援を中心に



本センターでは、発達障害を背景とする不登校や心理的課題に対する相談支援に力を入れてきました。相談件数の半数以上が不登校であり、そのほとんどが発達障害の二次障害です。病弱教育部をはじめとする本校の専門性を生かし、学校や医療機関、福祉機関などの関係機関と連携しながら、子どもや保護者の思いを大切に、より良い支援の方法を相談しています。

学校と連携して登校の意欲につながった支援

小1で学校に不安を感じて登校できなくなる。月一回の本人・保護者への通級体験と相談を行う。本人は制作活動を通して達成感を養う活動、保護者には思いの受け止めと学校とのつながり方のアドバイスを行う。同時に、学校と連携して本人が安心して登校できる方法を模索した。授業の様子を録画して自宅で見ることによって不安感が減少して登校への意欲が高まり、別室登校につながった。

新型コロナウイルスに起因する長期休校明けから登校できなくなる。保護者が外出時には自宅で1人で過ごすことが難しく、別室登校などを働きかけたが登校は難しかった。福祉機関の情報提供を行い、週2回程度外出して活動できる居場所につながった。本人が福祉機関で過ごしている間に保護者も安心して外出できるようになり、家庭の安定につながった。

他機関と連携し居場所づくりにつながった支援

読み書きの困難さに対して合理的配慮を行った支援

小3から相談開始。読み書きの困難さ、コミュニケーションの難しさなどから学級内で不適應があり、登校しぶりがみられる。発達検査を実施し、本人の特性を保護者や学校も理解。小学校では本人の特性に合わせた環境調整を行うことで登校しぶりが改善し、クラスで授業を受けられるようになった。中学校では、学校、医療機関、保護者が連携して読み書きの困難さに対して、定期テストで「ひらがな解答」「問題文にルビつけ」の合理的配慮を行い、得点につながった。本人も手ごたえを感じ、登校に前向きである。

「サポートJOYO」主催の研修会



「不登校支援研修会」年1回実施
(令和4年度は夏季を予定)

- ・不登校支援に関わる内容を計画しています。
- ・オンラインで実施します。

お問い合わせ

〒610-0113 京都府城陽市中芦原1-4
TEL: 0774-53-7100 FAX: 0774-53-4044
<http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/>

